校友・会社紹介

東池袋

『税理士法人セカンド』

代表税理士・須田啓資

（昭和58年商学部卒）

【取材・平成十九年商学部卒　島倉仁志】

この『セカンド』という名前には二つのこだわりが込められています。ひとつは、顧問先であるお客様の夢の実現を一番に考え、どのようにサポートできるのかを常に考える二番目（セカンド）の存在でありたいということ。もうひとつは会社の後継者（セカンド）を育成し事業承継に対して親身になって応えたいという想いです。実は須田さん自身、

先代から会計事務所を引き継いだ二代目の税理士でいらっしゃいます。

長年、朝霞本店で培われた経営・人事・労務、相続・事業承継・M&Aなど税務のみにとどまらない幅広い分野で顧問先企業の発展に尽力してこられましたが、最新の情報を発信するネットワークの拠点として、また事務所を　離れ経営者とじっくり戦略を練る場として一昨年、池袋支店を開設されました。

十年前から、明治大学の坂本恒夫大学院長が主催される「日本中小企業ベンチャーコンソーシアム」にメンバーとして参加され、様々な分野の経営者や起業家との交流を通じ、経営環境の変化やマーケット動向など研究を重ねておられます。

そのような須田さんですから、在学中から順調な会計人人生を歩んでこられたかと思いきや（やはり）さにあらず。学生時代はバイトやパチンコに明け暮れ、本気でプロ雀士になろうと思ったところめちゃくちゃ強い同級生のおかげで思い止まったとのこと（笑）。御茶ノ水の思い出は、たまに（？）勉強した「名曲喫茶ウィーン」。趣味のジャズを聴きに通った「ジャズハウスＮＡＲＵ」。「さぼうる」より美味かった「タカオカ」のカレーなど・・・ほとんど勉強しなかったそうです。逆に学生時代より必死に勉強したと振り返る税理士受験時代。きっかけは、卒業後に北海道で家業を継いだ親友のスーパーが倒産したこと。「困った経営者に寄りそうコンサルタントとして会社を発展させる手助けをしたい」との想いに目覚め、一念発起して駿河台の村田簿記に入学。昭和五十九年から勉強を開始し見事三年で合格！来年税理士登録三十周年を迎えられます。

「母校明治に対する想いは、学生時代より今の方が強い」とおっしゃる須田さん。知の源泉として積極的に大学と関わる姿勢はとても若々しく素敵です。

正確で素早い経営判断に必須と言われる「クラウド会計」はまだ普及率一・七％ほど。ＡＩやＩＣＴで変革の時期を迎える業界において、最新の情報と親身で丁寧な姿勢の須田さんはクライアントから求められる理想的なパートナーだと感じました。

【事務所概要】

税理士法人セカンド　池袋支店

〒一七〇―〇〇一三

東京都豊島区東池袋５―８―十七　イトーピアマイズ池袋１１０３

Tel:03-5956-8321Fax:048-470-1870

MEIJI UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION TOSHIMAKU BRANCH

明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部NEWS

2017年 第57号

新年のご挨拶

明治大学校友会
豊島区地域支部支部長
白砂　正人

新年明けましておめでとうございます。「戊戌」の年、デフレを脱却将来にわたり希望が見える年になることを校友の皆様と共に寿ぎたいと思います。

昨年も北朝鮮の核・ミサイル開発の脅威や中国の海洋進出で東アジア情勢が緊迫していました。また。7月の東京都議会議員選挙、9月末には突然の衆議院の解散による10月末の選挙となり、慌ただしい気持ちで一年を終わるかに見えましたが、12月に入り「二〇一九年4月30日の天皇陛下の退位、5月1日の皇太子様の天皇即位」の発表がありました。

平成から新元号に代わる節目に当たり、また、二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、本当に近隣諸国と手を携えて行ける日本でありたいと願う次第です。

さて、豊島区地域支部では毎月の役員会開催、年3回の会報の発行、ホームページの運営、使用済み切手・書き損じハガキの収集等の日常活動の上に、毎年恒例の3大行事（初春交流会・暑気払い・総会・懇親会）を各役員の協力のもと着実に実施・運営しその成果を上げています。

新しい試みとしまして、以前から要望がありました気楽に懇親・歓談できる場として昨年10月10日に六十歳以上の校友の皆様を対象としました「ミレイ会」を立ち上げました。

第1回はロサ会館2階の「小料理屋さど」で開催、第2回は12月12日に巣鴨地蔵通りの「キッチン　たけやま」で開催しました。「たけやま」は当豊島区地域支部の池田　曜常任幹事のお店です。今後の会合等には是非ご利用ください。

六十才以上の校友の皆様の懇親・歓談のたまり場として今後も二か月に1回のペースで開催できればと思っていますので気軽に参加いただきます様、お願いいたします。

東京都北部支部では昨年青年部・女性部を発足させました。当地域支部も組織の持続性・活性化を図るため北部支部の求めに呼応すべく青年男女の参加に積極的にかかわりたいと思います。特に当地域支部としましては、女性校友の協力・参加が少し少ないように見受けられますので、今年の強化事業として推進を図ります。女性が参加したいと思わせるアイデアがありましたらご提案下さい。即、実行に移したいと思います。

このように、当地域支部は、地域社会に根差した活動を行うとともに、活動に参加することが負担にならない運営を行い、持続性のある組織づくりを目指していきたいと念じております。そのため、「確実に」「着実に」をモットーに「老・壮・青」が「明るく・仲良く・楽しく」集える豊島区地域支部になります様ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

本年も良き一年となります様、ご校友の皆様のご健康とご多幸をお祈り申しあげます。

平成二十九年度

総会・懇親会開催

平成29年11月11日(土)18時から、今回は今年新装オープンとなりました旧勤労福祉会館、現としま産業振興プラザ IKE・Biz 6階多目的ホールで行われておりました。当日は、他地域支部の総会・懇親会開催日と重なった関係で、参加者は、今までよりは少なく現役を含め65名の校友及び来賓にお集まり頂きました。内外装が大幅にリニューアルされた真新しい会場で総会・懇親会が開催されました。

総会は、会則に則り、白砂正人支部長が議長となり議事が進行され、議案は全会一致で原案通り可決・成立致しました。今年は、2年ごとの役員改選時期でもありましたので、白砂正人支部長、後藤孝雄監査委員、島村高彦監査委員が引き続き留任となりました。総会終了後、記念講演として、校友でもあります豊島区文化商工部長小澤弘一氏から“東アジア文化都市国内候補都市選定について”と題して、画像を駆使して豊島区の活動を大変分かり易くご説明頂きました。国際都市豊島区を国内外にアピールするビックチャンスとのお話は大変興味深い内容で四十分間の講演はあっという間で、その内容は豊島区民として誇りに感じた次第です。

いよいよお待ちかねの懇親会の時間、総会会場が引き続き懇親会会場に早変わりとなり、中西大輔常任幹事の司会進行で、板橋光一幹事長の開会挨拶で始まり、ご来賓のご紹介、そして、ご来賓を代表して、公務ご多忙にもかかわらず毎回ご参加頂いております高野之夫豊島区長からご挨拶を頂きました。続いて大先輩勝浦信男校友の力強い乾杯の音頭で懇親会が賑やかにスタートしました。

なお、懇親会場で、としまNPO推進協議会主催フリーマーケット「えんがわ市」出店での売上金一万五千三百九十三円を豊島区に贈呈を行いました。

今回のイベントは、何時もの華やかな明治大学応援団バトン・チアリーディング部のパフォーマンスはなく、明治大学応援団指導班3名による伝統ある応援歌の披露が行われ会場内は大変な盛り上がりとなりました。そして、その盛り上がりの中、応援団ＯＢの橋爪孝利常任幹事がリーダーとなり、現役応援団員とともに、高野之夫豊島区長もご一緒に参加者全員が肩を組み、校歌の大合唱となりました。そして兼村仁常任幹事による三本締め、猪瀬典夫副支部長の閉会挨拶で散会となりました。

【報告　昭和47年法学部卒　幹事長　板橋光一】

■ミレイ会報告

豊島区地域支部では、毎年3回のイベントを開催し、校友の親睦を図っています。それは、2月の新春の会（地球飯店）、8月の暑気払い（第一イン池袋）、総会（としま産業振興プラザ）で、校友が集い、盛大に催されてます。年配の校友からは、もっと懐かしい昔の仲間に会い、話をしたいとの強い要望がありました。このため、60歳以上のシニアを対象にミレイ会を発足し、イベントの無い月の第2火曜日に懇親会を開催することにしました。

第1回は、10月10日にロサ会館2階の「さど」に9名が、第2回は、12月12日に巣鴨「たけやま」に7名が集い、昔話で盛り上がりました。

次回は、平成30年1月9日に開催予定です。

【報告　担当幹事　後藤孝男】

明治魂を伝える

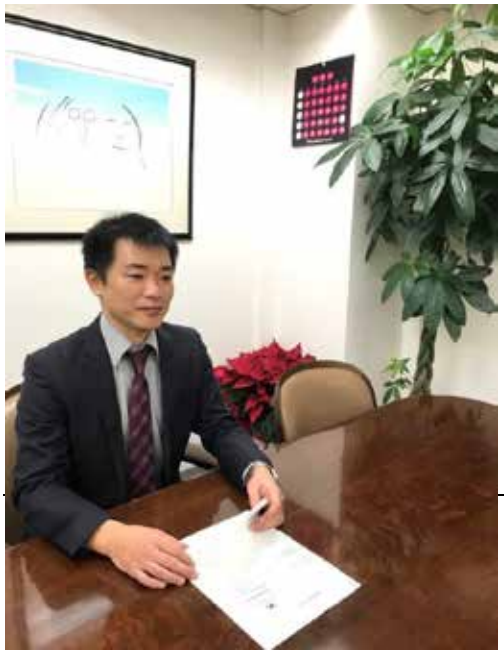
井上　裕貴

佐久間法律事務所　弁護士

平成12年　法学部　卒業

明治中学、明治高校と、明治一筋で育った私は、そのままエスカレーター式に明治大学へと進学しました。中学高校と6年間吹奏楽班に所属し音楽漬けであった私は、勉強に対し興味があったはずもなく、そんな私が教師に無理矢理ねじ込まれた学部、それが法学部でした。

大学に入学すると、真っ先に、社会人と大学生によって構成されている一般吹奏楽団に入団しました。これまで6年間音楽漬けであった私は、音楽以外に他に何をしてよいのか分からなかったのです。



楽団に入ってみると、非常に頑張りがいのある楽団で、メンバーも楽しく明るく自由な人が多かったので、大学そっちのけで、楽団の練習に励んでしまいました。

大学一、二年次の講義は和泉校舎で行われていますが、私が和泉校舎に行った回数は片手で数えられる程度だったと思います。ゼミは土屋先生の法社会学ゼミでした。能を観に行ったり、イタリアンを食べに行ったりしましたが、先生の僕は、単位はみんなにあげちゃうんだよねー。」という発言を耳にした日を境にゼミにも行かなくなってしまいました。

年度末試験だけは受けようと久しぶりに大学に行ってみたところ、いつの間にかリバティータワーができていて、掲示板の場所が分からず、教室に辿りつけなかったために試験を受けることができなかったこともありました。

その後も音楽漬けの大学生活を延々と続けていましたが、吹奏楽をやっている以上、一度は吹奏楽コンクール全国大会に出場しておく必要があると考え、前記の楽団から川口市の楽団へ移籍しました。この楽団で活動し、全国大会を経験したことで、これまでの音楽漬けの生活に踏ん切りをつけることができました。

音楽漬けの生活に踏ん切りをつけ、さて今後の人生どうしようかなと考え始めた大学6年生の4月、まずは大学を卒業しようと思い、英語4コマ、ドイツ語3コマの合計7コマの再々々々々履修の講義に出席し、大学を卒業しました。

卒業してしばらくしたころ、先輩の勧めもあり、司法試験を受験することに決め、人生初めての勉強を開始しました。受験中は色々と苦労しましたが、お陰様で打たれ強くなりました。

合格後の司法修習は、それぞれひと言でいうと、弁護修習は夜の銀座クラブ修習、検察修習はディズニーツムツム修習、裁判修習は登庁簿までの全力疾走修習でした。

現在は、明治中学高校大学の大先輩である佐久間洋一先生の事務所で弁護士をしています。やっぱり、明治で始まり、明治に戻りました。

高校3年生の最後、高校の担任教師は、「正直者はバカをみる」と黒板に書いて、クラスの卒業生を明治大学へ送り出しました。それでも私は他人の幸せを素直に願って正直に生きている人の方が好きですし、それこそ明治魂ではないかと思っています。

今は、居心地の良い明治の先輩方や後輩達に囲まれながら、音楽の目的が人の心を動かすことであるのと同様に、人の心を動かせるような弁護士を目指し、日々修行を積んでいます。

催事のご案内

「二〇一八年初春交流会」

日時　平成30年2月10日(土)
午後6時

場所　地球飯店
西池袋1－22－8
〇三(三九八五)〇六八四

参加費　五〇〇〇円
※現役学生は無料

◆お問い合わせは豊島地域支部
幹事長　板橋まで
〇九〇(八五〇一)六六六六